

登録コード	E7171400	開講年度	2026					
授業科目	卒業研究					担当教員	向井 秀文	
英文授業名	Graduation Study					副担当		
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生		
講義室	教育研究室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					臨床心理学的援助の方法論について学び、それを現場で応用していく力を身につける		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					臨床心理学における理論と実践の相互作用の重要性について学び、心理的な課題の治療プロセスについての理解を深める		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	臨床心理学に関する研究計画の作成方法について学び、発表や議論を通して理解を深め、卒業論文を完成させる							
(5)授業計画	第1回：ガイダンス 第2回：論文検索の方法 第3回：学術論文の読み方（問題と目的） 第4回：学術論文の読み方（方法） 第5回：学術論文の読み方（結果） 第6回：学術論文の読み方（考察） 第7回：研究テーマの設定について 第8回：研究方法の紹介（アナログ研究） 第9回：分析手法の紹介（媒介効果の検討） 第10回：分析手法の紹介（調整効果の検討） 第11回：分析手法の紹介（共分散構造分析） 第12回：分析手法の紹介（効果量の算出） 第13回：調査の方法 第14回：研究倫理について 第15回：学術論文の書き方（問題と目的） 第16回：学術論文の書き方（方法） 第17回：学術論文の書き方（結果） 第18回：学術論文の書き方（考察） 第19回：分析方法の紹介（記述統計） 第20回：分析手法の紹介（媒介効果の検討） 第21回：分析手法の紹介（調整効果の検討） 第22回：分析手法の紹介（共分散構造分析） 第23回：分析手法の紹介（効果量の算出） 第24回：分析手法の紹介（その他の多変量解析） 第25回：プレゼンテーションの方法（全体の構成について） 第26回：プレゼンテーションの方法（わかりやすくまとめるための方法） 第27回：プレゼンテーションの方法（わかりやすく伝えるための方法） 第28回：総括 ＊教育実習における欠席時の対応について：適宜個別対応する							
(6)成績評価の方法	○卒業論文の執筆やディスカッション・発表への取り組みに際して、授業の達成目標として掲げている観点を基準として評価する ・卒業論文：80%、発表およびディスカッション：20% ○得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可							
(7)成績評価の基準	卒業論文の執筆や発表・ディスカッションへの取り組みにおいて、総合的に評価割合が6割以上であれば「水準にある」, 7割以上であれば「やや上にある」, 8割以上であれば「かなり上にある」, 9割以上であれば「卓越している」と判断する							
(8)事前事後学習の内容	・関心のある研究テーマに関する情報を収集する ・自分が何を研究したいかを考える ・自分の考えをアウトプットする ・授業での議論を振り返ってさらに研究テーマを再構築していく ・卒業論文を執筆する							
(9)履修上の注意	・積極的にディスカッションを行うこと							
(10)質問、相談への対応及び連絡先	向井秀文（研究室：E405） e-mail：mukaih@shinshu-u.ac.jp							

【教科書】	指定しない
【参考文献】	適宜紹介する